

平成30年度 予算編成方針



平成29年10月13日

I 平成30年度予算編成のポイント

課題解決先進県を目指し、徹底したスクラップアンドビルドを通じた事業のさらなるバージョンアップを促進

- 「課題解決先進枠」を引き続き設定し、「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる本県人口の将来展望の実現に向けた取り組みを進めるために必要な事業など、課題解決先進県を目指した事業への重点的な配分を実施。
- 「課題解決先進枠」への要求に際し、既存事業を積極的に見直し、創意工夫による事業の組み替え・バージョンアップを促進するため、29年度予算から削減した額の1.5倍（※一般財源ベース）まで要求可能。
- 既存事業のスクラップアンドビルドを徹底するため、予算要求前に全庁的な協議を実施し、その結果を当初予算要求に反映。
- 費用対効果の観点から既存事業について積極的な見直しを実施し、課題解決先進県を目指した取り組みを推進するため、経常的経費は△5%のシーリング（投資的経費はゼロシーリング）。

既存事業の見直し、課題解決への取り組みに対応するため「課題解決先進枠」を継続

南海トラフ地震対策の推進

- H28.3策定の「第3期南海トラフ地震対策行動計画」に掲げた目標を達成するために必要な事業を着実に実施。

「南海トラフ地震対策の推進」新規、拡充分等に係る必要経費を積み上げ

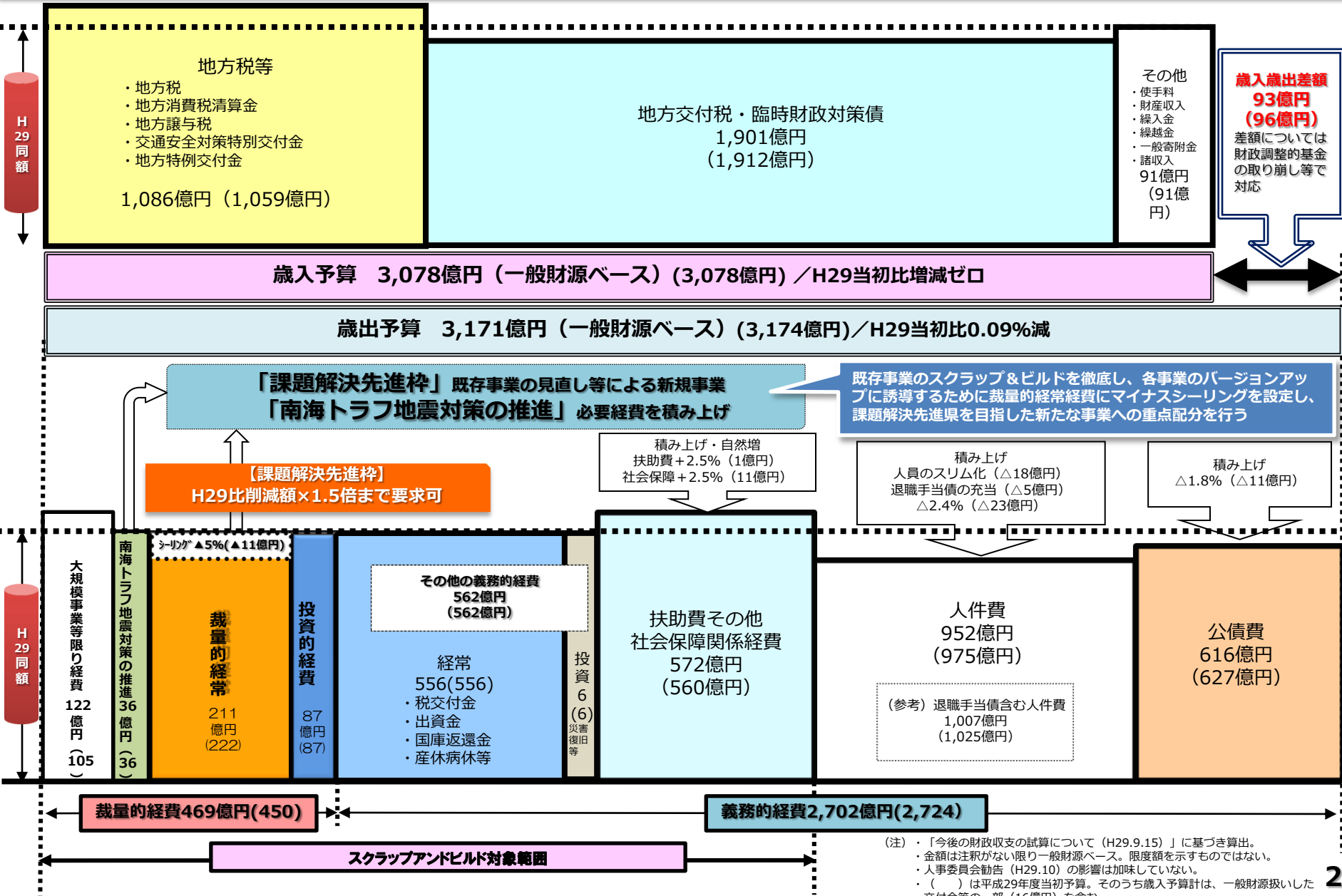
インフラ整備の推進と財政の健全化の両立

- 県民の暮らしと雇用を支えるため、普通建設事業費の一般財源総額（地方債含む）を確保し、立ち遅れたインフラ整備を推進。
- P D C Aサイクルを通じた徹底的な事業見直しを実施。

国の動向の把握と県予算への反映

- 歳入・歳出改革の議論など、国の動向に留意し、積極的に情報収集を行い、本県への影響を見極めた上で確実に予算に反映。

II 予算要求フレームの考え方



Ⅲ 予算編成の主なスケジュール（予定）

<p>平成29年</p> <p>10月</p>	<p>○ 13日 予算編成方針通知</p>	<p>全庁的なスクラップ アンドビルド協議</p>
<p>11月</p>	<p>○ 13日 予算見積書提出期限 ○ 21日 予算見積概要公表資料財政課提出期限</p>	<p>協議結果を当初予算 要求に反映</p>
<p>12月</p>	<p>○ 中旬 当初予算見積概要の公表</p>	<p>スクラップアンドビルド の状況について公表</p>
<p>平成30年</p> <p>1月</p>	<p>○ 中旬 財政課長内示、総務部長協議、総務部長内示 ○ 下旬 知事査定</p>	
<p>2月</p>	<p>○ 中旬 当初予算案記者発表</p>	